



日本共産党

西宮市議会議員

2019年9月

得意のフットワークで要求実現

No.166

まつお 正秀のかから版

自宅 能登町 12 - 58 - 412 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」です

9月議会、私が2つのテーマで一般質問

テーマは公契約条例と建て替え予定の市民体育館について
今回、3議会連続
となる「一般質問」

8月30日から始まった
9月議会は10月4日まで
開催予定。

9月議会は前年度の決算
審査が後半で行われま
すが、前半は一般質問や
議案審査が行われ、18名
の議員が一般質問。私は
今回、3議会連続となる
一般質問を行いました。

1つ目のテーマは

公契約条例

質問の一つ目のテーマ
は、公契約条例の制定に
ついてで、市が8年前、
条例化の必要はないと結
論を出しながら、この3
月議会では、今後5年間
で条例化の検討を打ち出
しました。

質問では、一旦必要な
いとしたものを改めて検

討するとして背景を浮き
彫りにし、前倒しで条例
案を示すよう求めました。
また、全国で公契約条
例の制定が広がっていま
すが、条例が理念だけの
自治体もあることから、
実効性のある賃金条項を
盛り込むように強く求め
ました。



壇上での質問を行う私

2つ目のテーマは建て 替え予定の市民体育館

二つ目のテーマは、現
在建て替えに向けて準備
が進められている市民体

育館の整備について。

8年前の河野市長時に
アサヒビル跡地を購入
し、中央病院や体育館の
移転建て替えを検討。し
かし、跡地購入白紙を主
張した今村氏当選で体育
館は現在地の建て替えに
同時にストークスがホ
ームアリーナを探してい
たことから市が誘致し、
B1基準での整備へと動
いていました。

ところがこの8月、突
然西宮ストークスが中央
体育館をホームとしない
との申し入れが。

私はこの機会に体育館
整備規模縮小への見直し
とともに、市民要望の強
い温水プール整備を検討
するように求めました。

B1
プールバスケットボ
ール一部リーグの事

困った時は日本共産党 上記まつお迄 活動報告は上記の議員団ホームページから
まつおの議会質問詳細 (答弁含む) 等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索

担当委員会の研究テーマは食肉センターとゴミ減量

議員は5つある委員会のどれかに所属し、年間を通じて研究テーマを決めて議論を深めることになっています。私は今期、民生常任委員会に所属しています。市民サービスなどを担当する市民局 困保等も含む、産業やスポーツ・文化などを担当する産業文化局、環境やゴミ問題などを担当する環境局の三つの局を所管しており、通常議会での議案審査と共に、施策研究テーマを決めて議論し、年度末に委員会として当局に提言書も提出。今季の研究テーマは「食肉センターの課題と展望」「ゴミの減量化」の一つ。食肉センターについては党議員団として、市税を毎年つぎ込む事態をなくすために民営化を主張。ゴミについては、本市は特に事業系ごみの削減が遅れています。当面は10月に管外視察に行き、他市の先進事例などを学び、その後、毎月委員会を開催して研究を深めます。

健康あれこれ 90回 ストレスとガン

昨年、ストレスの多い状態の男性は、ストレスが少ないと感じている男性に比べて、ガンの発症リスクが約20%高いとする研究結果を、国立がん研究センターが発表。調査は全国9府県の40～69歳の男女を対象に実施。1990年～1994年に『ストレスは多いか』と質問し、少ない、普通、多いに分けた回答を得、さらに5年後に同じ質問をして回答した約8万人を平均18年間追跡調査。これだけ長期間、しかも大規模人数の調査は世界的にも初めてだとの事。女性ではガンとストレスとの関係で明確な関係は見られなかったそうで、仕事の関係もあるかもしれませんが、男性はストレスに弱い傾向にあるみたいです。

食べ物豆知識 152回 輸入小麦

家計調査では、すでにコメよりもパンの方が支出額の多い日本。日本は小麦の8割を輸入し、その多くはアメリカやカナダから。そんな中、私が購読している新婦人しんぶんには輸入小麦から除草剤グリホサートが検出されたとの記事が。グリホサートは発がん性に関する可能性の高い農薬ランクの上位にあり、オーストラリアやチェコでは全面禁止。ところが日本は2017年から残留基準を5ppmから30ppmへとアメリカ基準へと逆に緩和。ここでもアメリカ言いなりが見えてきます。

まつお正秀のニラム

フランスの高速炉ASTRID(アスリッド)の開発計画中止のニュースが飛び込んできました。日本でも莫大な費用を投じて失敗した原子力船むつ、使用済み核燃料の再利用、その上増殖もできるとした高速炉もんじゅも失敗だらけで日本政府は断念。核燃料処理技術では世界一とされるフランスで、仏原子力代替エネルギー庁が多額の資金をつぎ込み、使用済み核燃料から取り出したプルトニウムを燃料とする高速増殖炉開発を進めていました。日本で失敗したため、フランスで続けられていた「核燃料サイクル」に望みを託し「日本政府は国際協力の名の下に費用をつぎ込んできました。フランスの核燃料サイクル」の見通しが立たなくなった今日、日本で原発を推進・再稼働を進めることがいかに無謀なことか。ましてや「トイレなきマンション」といわれる原発を海外に売り込むなど、世界の笑いものにしかならないのではないのでしょうか。